株式会社 PHP 研究所発行
斎藤　孝著
若者の取扱説明書　「ゆとり世代」は、実は伸びる

今会社においても、学校においても若者の不可解な言動に上司は戸惑っているのではないでしょうか。

大学教授だったアメ研のメンバーは、大学での授業での若者の傍若無人ぶりを話してくれたことがあります。暗幕を閉じてスライドを使っての授業では、暗闇に蛍の如く光が瞬いているという話もありました。すべての光は学生が携帯電話を使っている証拠です。

何か注意すると親に言われて大学にきているだけだとさっさと退学してシム者もいるという話もありました。

大学としては退学されると、授業料収入の減少になりいい顔をしないようです。

職場でも仕事を言いつけると、やったことがありません、教えて貰ったことがありませんと事も無げに言い返してくるそうです。昔のようなチーム・ワークを構成するのも難しく、会社への忠誠心も、和の維持も望むのが非常に困難だと聞いています。

以上のような対若者との接触で上司にとっての珍事に遭遇された経験の持ち主は、この若者の取扱説明書は、今後の若者を扱う上でかなりの参考となるのではないかと思います。

この著者の大学での授業を通してえられた貴重な経験に基づく若者対処方が書かれています。それを利用すれば、現代の若者気質も理解できるようになれるし、若者との会話において経験した問題点や悩みも解消されるのではないかと期待できます。

若者の取り扱いに苦しんでいる壮年諸侯にとって、この本は希望の一条の光を与えてくれます。